

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】令和1年10月10日(2019.10.10)

【公開番号】特開2018-80802(P2018-80802A)

【公開日】平成30年5月24日(2018.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2018-019

【出願番号】特願2016-225056(P2016-225056)

【国際特許分類】

F 16 L 9/14 (2006.01)

【F I】

F 16 L 9/14

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月29日(2019.8.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

固体物を含んだ流体が内部を流れる配管部材であって、

筒状の外管と、

前記外管の内側に、径方向に間隔をあけて設けられ、1個又は管軸方向に直列状に並べて配置された複数個の筒状のライナと、

前記外管の一端側に設けられ、前記一端側に配置された前記ライナを、前記管軸方向及び前記管軸周りの周方向に拘束した状態で保持する第1ライナ保持部材と、

前記外管の他端側に設けられ、前記他端側に配置された前記ライナを、前記管軸方向にスライド移動可能、かつ前記周方向に拘束した状態で保持する第2ライナ保持部材と、を備え、

前記ライナの端部と隣接する前記外管の端面との間には管軸方向に隙間が形成され、前記隙間では前記第2ライナ保持部材が前記ライナの外周側に設けられることを特徴とする配管部材。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記課題を解決するために、本発明の配管部材、ガス化複合発電装置、配管部材の組立方法は以下の手段を採用する。

本発明に係る配管部材は、固体物を含んだ流体が内部を流れる配管部材であって、筒状の外管と、前記外管の内側に、径方向に間隔をあけて設けられ、1個又は前記管軸方向に直列状に並べて配置された複数個の筒状のライナと、前記外管の一端側に設けられ、前記一端側に配置された前記ライナを、管軸方向及び前記管軸周りの周方向に拘束した状態で保持する第1ライナ保持部材と、前記外管の他端側に設けられ、前記他端側に配置された前記ライナを、前記管軸方向にスライド移動可能、かつ前記周方向に拘束した状態で保持する第2ライナ保持部材と、を備え、前記ライナの端部と隣接する前記外管の端面との間には管軸方向に隙間が形成され、前記隙間では前記第2ライナ保持部材が前記ライナの外周側に設けられることを特徴とする。